



京都市立小栗栖中学校通信

小栗栖だより

令和5年2月1日発行

No. 13

一面の銀世界に響く歓声



10年に一度と言われた寒波は想像以上に寒さと雪をもたらし、近年経験したことのないほどの雪が一気に積もりました。京都で雪が降ると、全国ニュースでも「金閣寺の雪景色」など珍しく、どちらかというと称賛されることが多かったのですが、京都駅や山科駅での立ち往生や、翌日の地下鉄の乗客の大渋滞など大変な状況のニュースを多く見かけるほどの影響がありました。幸い、25日も平常通り授業を行い、予定していた学習確認プログラムも時間をずらすことなく実施することができました。もちろん生徒たちは大喜びで、雪合戦、雪だるまと年に1回あるかないかの雪を存分に楽しんでいました。一定この寒波も収まったようですが、2月に入り、10日の私学入試に始まり、16日からの公立前期選抜と入試シーズンとなります。雨が降っても心配なのですが、くれぐれも今回のこのような雪による交通障害が起こらないことを願っています。



引き続き感染対策を・・・

政府の発表では5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが2類から5類へ引き下げられることになりました。「ようやく」という声もあれば「大丈夫?」という声もあり、第8波とはならなかつたようですが、1月の連日の報道ではまだまだ減少したとは言い切れない気がします。

学校生活でもこれまで自粛してきた百人一首大会も実施しました。やはり一堂に会して取り組む行事は生徒の表情が変わります。生き生きとして樂しみ姿勢、仲間と協力して共創しようする姿勢が芽生えます。行事に取り組むことは、その行事だけでなくその後の日常生活を含めた取組に良い影響を与えてくれます。

まだまだすべての取組が元通りというわけにはいきませんが、少しずつ日常を取り戻してきています。ぜひとも感染対策を講じて生徒の「歓声」を聴きたいと思っています。

しかし、その反面、今年はインフルエンザの流行もあり決して気を緩めるわけにはいきません。世間では「卒業式シーズンまでにマスクを外せるように」という合言葉のようなものを耳にしますが、卒業式はもちろんそれ以外の取組も、また来年度に向けても、当面は校内でのマスク着用や手洗い、消毒についてはこれまで通り奨励していきたいと思っています。ぜひご理解いただき、地域やご家庭でも話題にしていただきたいと思っています。



<2月の予定>

2月 2日（木）	小さな匠展（～5日）
3日（金）	生徒会専門委員会（3年生最終）
7日（火）	地生連総会（19時～）
9日（木）	PTAあいさつ運動
10日（金）	京阪神私学入試（～12日）
13日（月）	1・2年テスト週間
16日（木）	公立前期選抜（～17日）
21日（火）	1・2年定期考査⑤（～24日）